

運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額					期末残高
			運営費交付金 収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	建設仮勘定見返 運営費交付金	小計	
平成28年度	-	7,500,615,000	3,764,192,735	65,420,735	3,177,918,027	972,000	7,008,503,497	492,111,503
合計	-	7,500,615,000	3,764,192,735	65,420,735	3,177,918,027	972,000	7,008,503,497	492,111,503

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な用途の明細

① 運営費交付金収益への振替額及び主な用途の明細

(単位:円)

区分	運営費交付金 収益	運営費交付金の主な用途	
		費用	主な用途
業務達成基準による振替額			
東京国立近代美術館	921,782,892	909,378,428	人件費:387,160,843、業務費:522,217,585
京都国立近代美術館	223,357,113	208,214,528	人件費:102,126,113、業務費:106,088,415
国立西洋美術館	490,297,036	486,458,845	人件費:160,219,321、業務費:326,239,524
国立国際美術館	267,448,958	268,747,804	人件費:118,949,542、業務費:149,798,262
国立新美術館	511,346,232	503,716,477	人件費:169,989,454、業務費:333,727,023
法人本部	234,801,009	224,828,359	人件費:146,171,398、業務費:78,656,961
期間進行基準による振替額	1,115,159,495	1,029,690,954	人件費499,610,737、業務費:530,080,217
費用進行基準による振替額	-	-	費用進行基準を採用した事業は無い。
合計額	3,764,192,735	3,631,035,395	

② 資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な用途の明細

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な用途	振替額	主な用途
東京国立近代美術館	42,921,095	工具器具備品 34,605,095 ソフトウェア 8,316,000	773,456,228	美術工芸品 773,456,228
京都国立近代美術館	-		1,237,639,200	美術工芸品 1,237,639,200
国立西洋美術館	15,660,000	工具器具備品 15,660,000	663,129,942	美術工芸品 663,129,942
国立国際美術館	996,840	工具器具備品 996,840	503,692,657	美術工芸品 503,692,657
国立新美術館	5,842,800	工具器具備品 5,842,800	-	
法人本部	-		-	
合計額	65,420,735		3,177,918,027	

③ 建設仮勘定見返運営費交付金への振替額並びに主な用途の明細

セグメント	建設仮勘定見返運営費交付金への振替	
	振替額	主な用途
東京国立近代美術館	-	
京都国立近代美術館	-	
国立西洋美術館	972,000	建築整備改修工事 972,000
国立国際美術館	-	
国立新美術館	-	
法人本部	-	
合計額	972,000	-

(3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画	
業務達成基準 を採用した業務 に係る分	セグメント		
	東京国立近代美術館	83,747,892	ナショナルコレクション形成・継承事業及びナショナルセンター事業について、計画に基づく美術作品及び映画フィルム等の収集、修復ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。
	京都国立近代美術館	16,200,000	ナショナルコレクション形成・継承事業について、計画に基づく美術作品等の収集ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。
	国立西洋美術館	111,866,117	ナショナルコレクション形成・継承事業について、計画に基づく美術作品等の収集ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。
	国立国際美術館	24,875,303	ナショナルコレクション形成・継承事業について、計画に基づく美術作品等の収集、修復ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。
	国立新美術館	-	翌事業年度への繰越額は無い。
	法人本部	255,422,191	ナショナルコレクション形成・継承事業について、計画に基づく美術作品等の収集、修復ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。
	小計	492,111,503	
期間進行基準を採用した業務に係る分		-	翌事業年度への繰越額は無い。
費用進行基準を採用した業務に係る分		-	費用進行基準を採用した事業は無い。
計	492,111,503		